

令和3年度学校評価シート（学校関係者評価）

かぴら幼稚園

学校関係者評価委員会

日時 令和4年2月14日ほか

公開保育の後、学校評価を実施

10:00～12:00（時間）

出席者 評価委員（保護者）2人

評価委員（地域住民）2人

評価委員（他の施設の職員）1人

1、自己評価で設定した目標・計画、評価項目の設定は適切であったか。

目標や計画は、少子化の流れの中、時代にあった幼稚園をつくりあげていくことを掲げた目標や計画は、適切であったと思う。評価項目は、昨年度から引き続きの内容があり、継続的に取り組むべきものとして今年度の取り組みを評価することを目指し、適切であるとおもわれる。

コロナ禍であったが、園児達の成長に繋がる行事や活動をやみくもととりやめるのではなく、感染症対策を行いつつ、出来る形を模索し、実施されたことは、意味のあることだと思われる。

コロナ禍は来年度も引き続き園生活に影響を及ぼすと思われるが、今年度の経験を踏まえ、できるだけ色々な行事や活動を行えるよう努力されることを期待している。

キャリアアップ研修を通して、最新の実践的な情報を学び、園に新たな知識を持ち帰り、共有することは意義があることであり、園の教職員内での意識の高まりが感じられた。

2、評価結果の内容は適切であったか

概ね適切だと思われる。評価すべき点と今後とりくむべき点が把握されていると思った。

3、今後取り組むべき課題は適切に設定されているか

人材確保と新人育成、教職員の働き方改革については、幼稚園だけでなく社会全体での大きな問題になってきている。設定は適切だと思われる。教職員の働き方改革については、幼稚園や認定こども園、保育園等においても、質の高い保育を行う上で、ワークライフバランスを意識した取り組みが求められるものであり、引き続き推し進めるべき重要項目として扱ってほしい。

園児募集につながる広報や新たな取り組みは、園運営にとり重要な課題であり、園全体で取り組むべきものであるとおもわれる。

4、公開保育に参加して

コロナ禍の中での園生活だが、屋内でのマスク着用や換気の実施、手洗い励行等行われる中でも、園児達は、イキイキと日々過ごしている様子が見られた。制限のある形であっても、毎日、登園し、先生や他の園児達と関わったり、共に何かに取り組むことができる生活を送れていることの大切さを痛感した。教職員の方々は、配慮する点が多く、大変だと思われるが、子ども達のため頑張ってもらいたい。